

天文講演会

大気球を使った 大気上部での 微生物採取実験

2024

3/9 SAT 時間 13:00~14:10

会場 千葉市科学館 7階プラネタリウム

定員 先着200名

対象 小学生以上

参加方法 2次元バーコードまたは下記URLから申込フォームにアクセスしてご応募ください



<https://forms.gle/fJsC7Vy4HYhMtaFB6>

申込期間 2/17(土) 9:00 受付開始・先着順

※残席分は、当日12時より7階サイエンスアート広場にて整理券を配布します。
※事前予約された方も、7階サイエンスアート広場にて受付を行います。
※講座開始後のご入場は出来ませんので、ご了承ください。

講師 大野 宗祐 (おおの そうすけ)
千葉工業大学
惑星探査研究センター
首席研究員



///

地球には生物が居ますが、地球の近傍の宇宙空間には生物は見つかっていません。では地球の生物はどの高度まで居るのでしょうか…実はよくわかっていません。それは、地球生命は地球にしかないのか、生命は違う星に移動することができるのか、知るための重要な手がかりです。我々は、地球の生物圏の上端を観測するため、巨大な気球を使った実験を行っています。当日は、実験の様子や最新の結果などをご紹介します。

講師プロフィール

専門は惑星科学、アストロバイオロジー。隕石衝突の化学反応が専門で、白亜紀末の大量絶滅、特に海洋の絶滅パターンが硫酸酸性雨と海洋酸性化によって説明できることを示した(naturegeoscience, 2014)。千葉工大惑星探査研究センターでは、地球生命圏の上端を観測的に決定することを目指す大気球微生物採取実験 Biopause プロジェクトの責任者を務めている。著書は「未培養微生物の最新動向」など。